

「おはなしの会しらゆきひめ」は、平成4年に茨城町中央公民館で開催された「絵本とおはなしの講座」に参加したメンバーを中心に発足し、今年（令和4年）30周年を迎えることができました。これからもあたたかな仲間たちと楽しいおはなしを届けてまいります。

今回は、茨城大学地域研究・地域連携プロジェクトとしての「茨城に伝わるおはなし」や、しらゆきひめの活動をご紹介します。皆さまに楽しいひとときを過ごしていただきたく存じます。また昔話の茨城方言の特徴などについて、特別講師の茨城大学教授・杉本妙子さんの講義で理解を深めたいと思います。

杉本妙子氏講演
「茨城方言の特徴について」

下石崎の「数珠くり」

茨城のおはなし（語り）

光る石（下石崎神塚神社伝説）
愛宕山の十三天狗（岩間の伝説）
慈雲寺の天狗和尚（下土師慈雲寺の伝説）
きつねの宝珠の玉（福島富岡町の昔話）
鬼にさらわれた女房（高萩の昔話）
瀬沼川のカッパ（下飯沼の昔話）
ふくべと大蛇（茨城の昔話）



紙芝居「カッパレもち」

ミニ茨城弁講座

大型絵本・カーテンシアター

など

杉本妙子氏プロフィール

茨城大学 人文社会科学部教授

専門は方言学、社会言語学等。現在は茨城方言を主に研究。
また、方言研究の立場から音感にも注目している。
2016年度から文化庁委託事業として茨城大学図書館土曜アカデミーにおいて「聞いてみっべ・語ってみっべ・方言昔話」を開催している。

予約制/定員80名

（先着順）

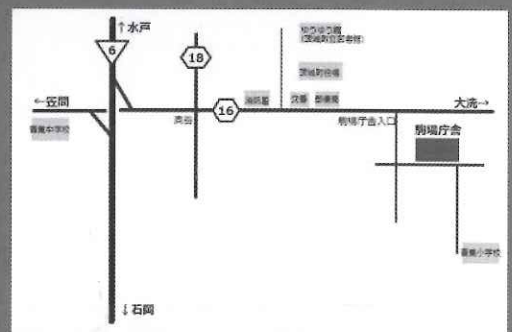
お問い合わせ

茨城町立図書館 029(240)7131

会場

茨城町駒場庁舎

（茨城町駒場450）



新型コロナウイルス感染症予防のため、マスク着用と手指の消毒、ソーシャルディスタンスにご協力ください。状況により中止や内容の変更がある場合がございます。